

がん医療を考える

# 市民公開講座

～市立三次中央病院のがんに対する取り組み～

わが国では男性は2人に1人、女性は3人に1人が生涯のうちにがんにかかり、死亡原因の第1位を占めるようになってきました。

広島県においても死亡原因の第1位を占め、総死亡者数の約3割、年間約8,200人ががんで亡くなっています。

今年度の市民公開講座は女性のがん罹患率1位である乳がん\*について分かりやすくお伝えします。お気軽にご参加ください。

\*国立がん研究センター 2016年全国がん登録の結果から



演題

## あなたとあなたの大切な人のために 受ける乳がん検診

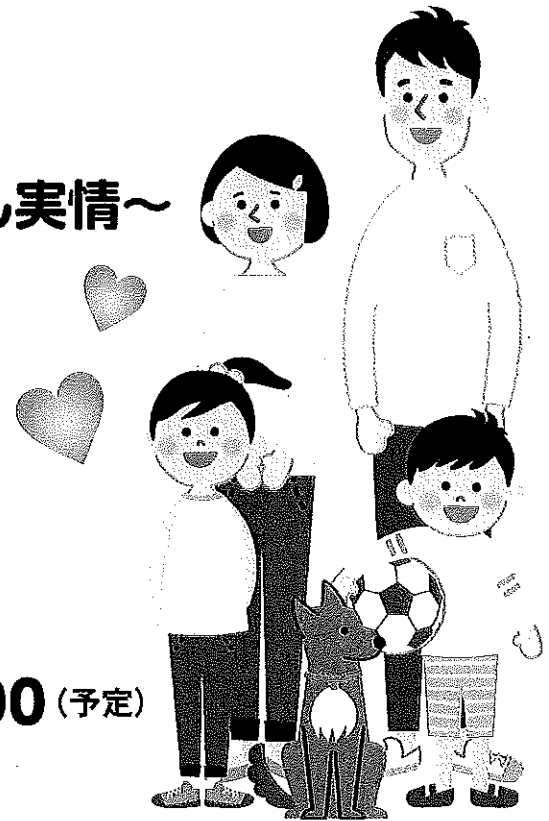
～正しく学ぼう乳がんのこと  
診断と治療と県北の乳がん実情～



市立三次中央病院  
外科 医長

はし づめ じゅん じ  
**橋 詰 淳 司**

講師

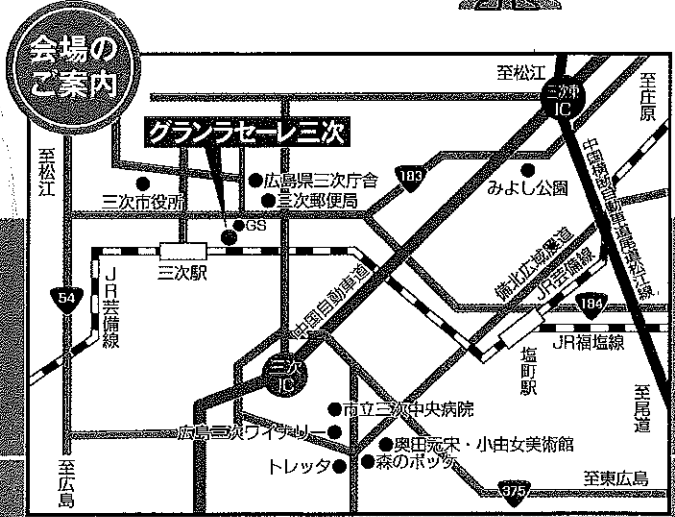


日時

令和元年  
**9月10日** (火) **18:30 ~ 20:00** (予定)  
(開場 18:00)

場所

**グランラッセーレ三次**  
三次市十日市南1丁目5-5



お問い合わせ先

市立三次中央病院 医事課医事係  
〒728-8502 三次市東酒屋町 10531 番地

**TEL : 0824-65-0101**

主催：市立三次中央病院